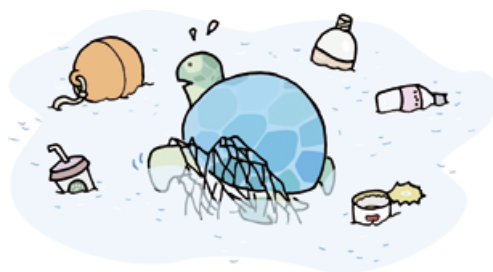


コープでは、組合員の皆さんと身近なエコを「知る・共有する・やってみる」きっかけづくりとしてエコ活に取り組んでいます。100年後にも美しい地球を残すため、「コープデリのエコ活」として、私たちの生活の中で ①CO₂ (温室効果ガス)、②使い捨てプラスチック、③食品ロス を減らすことをテーマに掲げています。今回は、プラスチックとの付き合い方について考えてみましょう。

海洋プラスチックと マイクロプラスチックについて 学んでみよう

●海洋プラスチックとは?

ポイ捨てされたり、台風や津波など自然災害で流されたりして、最終的に海に流れ着いたプラスチックごみを「海洋プラスチック」と呼びます。年間800万トンのプラスチックが海に流出していると言われており、何も対策をしなければ、2050年に海にすむ生きものより海洋プラスチックの量が多くなるというレポートもあります。日本からも年間2~6万トンが流出していると推計されています。



●マイクロプラスチックとは?

海洋プラスチックと合わせて問題となっているのが「マイクロプラスチック」。マイクロプラスチックは直径5ミリメートル以下の小さなプラスチック片のことを指します。洗顔料や歯磨き粉などで研磨剤として使われる「マイクロビーズ」や、もとは大きなプラスチックが細くなったものがあります。海に流れ出たマイクロプラスチックを魚や水鳥が誤って食べ、さらにそれを他の生きものが食べ…。食物連鎖でさまざまな生きものの体内に取り込まれていることが報告されており、生態系への影響も心配されています。

プラスチック製品がマイクロプラスチックになるまで

1 プラスチックごみ



3 破砕・細分化



2 川から海へ



4 魚などが食べる



使い捨てされるプラスチックを 減らすためにアクション! 4R+R

プラスチックは私たちの生活になくてはならない便利な素材です。しかし、その使用量と処分量のバランスが崩れています。利用する前に「このプラスチックは減らせないかな?」と考えたり、利用したプラスチックをごみとしてでなく資源として分別して出したり、別の用途で再利用したり…。最後まで面倒を見る工夫が必要とされています。

日本の一人当たりの容器包装プラスチックごみの排出量は、世界第2位の多さとなっています。リサイクルされるプラスチックの中には燃やして熱エネルギーとして活用されるものも多く、燃やすことでさらに余分なCO₂の発生につながることも…。

リフューズ(断る)

レジ袋などの利用を「断る」。マイバックやマイボトルを利用する。



コープでは…

マイバッグの利用を呼びかけています。マイクロビーズを使用した商品は取り扱いません。

リサイクル(再生利用する)

きちんと分別して「リサイクル」に出す。



組合員の皆さんの協力で回収された資源が、さまざまな再生品に生まれ変わっています。

リニューアブル(再生可能資源の活用)

植物由来プラスチックなど、「再生可能資源」が使われている商品を選ぶ。

とうもろこしやサトウキビの食用でない部分を原料として作られたプラスチックをコープ商品の包装に使用しています。



エコマーク認定容器
PETフィルムに
植物由来プラスチック20%
認定番号19140016号

リデュース(減らす)

普段使うプラスチックの量を「減らす」。

ペットボトルの重量を減らしたり、ラベルフィルムやトレーをなくしたり、容器包装を減らす取り組みをしています。



ラベルフィルムをなくしました

リユース(再利用する)

一度使ったものを「再利用」して繰り返し使ったり、必要としている人に譲る。

詰め替え商品の品ぞろえを増やしています。



コープで回収したペットボトルのゆくえなど、
もっと詳しく知りたい方は「コープデリのエコ活」特集サイトをチェック!

